



# 同窓会報

発行  
東京都立  
久留米西高等学校  
同窓会  
0424(74)2661-3

## 能力の伸長はこれからだ

校長 町田好二

先日、三十年ぶりに、私が若い頃担任した卒業生諸君の会合に招かれました。高校生時代の面影の残っている諸君も多かったのですが、中にはすっかり変わってしまった者もあり名前を思い出すのに一苦労しました。数学が不得意だったのにコンピュータの権威になっているA君、学業成績抜群で国家公務員として活躍しているB君、いつも何かにこっているC君は、パテントを取って大金をつかみ、今は事業にかけている。中には事業に失敗し、友人に助けられて苦境を乗り越えた人の話などを聞かされました。

三十年という長い人生を一人ひとりが精一杯生きて来た生きざまを言葉のはしはしにくみとるとともに、自分の利害を超えた温い友情のきずなに深い感銘を覚えました。人間は誰でも何かしら才能があるものです。その能力は長い人生のど

こかで開花する。高校時代の学業成績とは異なるものです。今までの日本の社会では、とかく学業成績のみにとらわれがちでした。他人の指示に従って能力を発揮できる人がいつまでも社会の先頭に立って走り続ける。独創的な考えで発明や発見をしたり、企画立案し、他人に指示したりする能力のある人が、その能力を十分に発揮できないうらみがありました。これが日本の社会の欠点でした。しかし、今はグローバルな時代です。いたずらに過去にこだわらずおごりも卑下も禁物です。生涯を通じての学習の努力、何物も恐れぬ勇氣と実行力等がその人の運命を左右する時代に変わりつつあるのです。自分の能力、適性の発見はなかなか困難です。しかし、絶えざる努力と友の批判によって開花させ得るものです。お互い助け合って、生き甲斐ある人生を切り開いて欲しい。

## 野球部

東京都大会優勝  
関東大会準優勝

顧問

武井克時

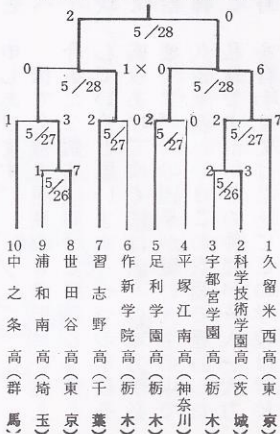
先の野球部の関東大会出場に際しましては卒業生諸兄の温かい御支援を得まして、選手達は力を余すところなく出しきり、久留米西高東京にありと、堂々たる試合をしてまいりました。一回生以来、今年こそ、と思いつつ涙をのんで、苦い敗者の抱く屈辱感を勝利への執念につなげ、OBの指導を仰ぎ、ひたすら野球に打ち込んだ結果だと思えます。

選手達はこの貴重な経験を今後の青年の生き方の中にも必ずや生かして我が校の誇れるOBとして活躍して

くれることを信じています。創立以来五年を経て本校は増々発展し続けています。生徒達の自主的な部活動も一段と活発さを増し、各部とも先輩達の伝統を受け継いで、着実に歩んでいます。これからも母校と後輩のために久留米西高の支援と自身自身の躍進に励んで下さい。尚、八月一日より野球部は硬式に変更となり、来年度の夏季大会より甲子園を目指し頑張っております。つきましては、皆様の一層の御支援を賜わりたく存じます。



優勝 習志野高校(千葉)  
準優勝 久留米西高校(東京)



第27回春季関東高等学校軟式野球大会  
(栃木県真岡市)



## 渡辺先生を偲びつつ

教頭

斎藤博

着任早々の衝撃は、渡辺久男先生の急逝であった。初めてお会いした時、ご愛用の檜の葉の校章をあしらったネクタイピンを頂いた。心血を注がれた久留米西高創業の五年有餘の歳月がそれにはこめられている。私には重すぎるものだが、「後をしっかりと頼むよ。」との励ましと感謝をお受けした。新米教頭にはわか

らないことばかりだ。先生がおられたら、とつい考えてしまう。温容を偲ぶ毎日である。

夢中のうちに夏休に入り、猛暑の中に少しづつ久留米西高に馴れ初めた自分を見出している。泉下の渡辺先生も見守っていて下さる。微力ながらもご期待にそいたいと思う。

今でも深く焼きついている。

当時、私は英語を勉強することが面白く、その関係の仕事もよくした。夏休みなどは、参考書や注釈書を書くので毎年つぶれていた。当然、英語の教師としての生きる道をその方面に求めている私にとって、新設校の開業業務に従事することは、一つの方向転換を意味した。

その後、職員室などで、顔を合わせた時など、数回「どうした、決心はついたか。」などボソツと言われることがあったが、私も生返事をしていくうちに、十一月一日付で、久留米西高へ行かれてしまった。はっきりとしたような気持と、淋しいような気が交錯して、妙に落ち着かない日が五・六日続いたある夜、先生から電話がかかってきた。その声のひび

きから私はただならぬものを感じるとり、ほとんど直観的に久留米西高へ来ることを決心した。

その夜、先生は、都立高校の現状、未来像を熱っぽく私に語った。全てを白紙に還元して、それこそ、明治維新からもはるかにさかのぼり、神武創業の精神に還ったつもりで、ことを始めよう。そして、この武蔵野の一角に、理想の高校を築こうというまことに気宇広大な構想であった。私はその時ほど我が身の不明を恥じたことはないし、又、その時ほど人から信頼される喜びを味わったことはない。その後五年三月、私は自分が想像した以上に勉強できた。

## 同窓生の皆さんへ

都立小山台高校教諭

北見英二

私は自分の二十代の後半を過ぎたこの久留米西高校をこの三月で去り今度、小山台(こやまだい)高校で教鞭を執ることになりました。小山台高校は古い学校で、いろいろ勝手が違つて戸惑っていますが、久留米西の爽やかなる新風を吹き込むぞ、という意気込みで居ります。

この久留米西高校での四年間は私にとって教えることより教わることの方が多い毎日でした。この場をお借りして教職員の皆様に改めてお礼

申しあげます。

扱て久留米西高校も六年目を迎えていると思います。一つの学校を盛りあげてゆくには人々の協力が必ず要です。何の因果か短い人生の中で久留米西というこの空間で邂逅した私達ですが、その仲間が一人一人力を合わせてはじめてこの学校は学校として発展すると思います。この学校は優れた先生方、事務職員の方々に恵まれ、熱心に日々の教育活動を進めています。同窓生の皆さんは、そういう久留米西高校に学んだことを誇りとし、アルマ・マター(Alma Mater)と、大切に思い、今後の生活の中で、ともすれば悲しさに負けそうな時に、この緑の多い、明るい学園を思い出し、支えとして頑張ってください。この私も今後は、この久留米西高校で、教職員の皆さんや、生徒諸君から教えられた一つ一つのことを土台にし、つらい事に向つていく位の気魂をもって、諸君の顔を目にかかべ、時には校歌を口ずさんで頑張りたいと思います。四年間有意義に過ごさせて頂き、有難うございました。

## 杉浦先生のこと

都立三田高校教諭

前田忠造

杉浦先生が久留米西高の校長に内定されたのは昭和四十八年十月の末だった。当時先生は、都立大高山高校の教頭をしており、私も同じ学校に勤めていた。先生は、机で本を読んでいた私のところへ来て、この次第を話された後で、「一緒に来ないか。」と例のいたづらっぽい目をしておっしゃった。江戸っ子特有の照れ屋であった先生は、まじめな話も、よく冗談めかして言うことがあるので、私はその真意を計りかねて「冗談でしょう。」と軽く受け流してしまつた。日のよく当る窓際でこの会話が交わされた情景が何故か、心に



### クローバ

一期生 安宅 臨

先日、机の位置を変えようとして大きな本棚を動かした。すると本棚で隠れていた壁におもしろいものがあった。四つ葉のクローバがセロテープでとめてあったのだ。実はその四つ葉のクローバは、僕が高校三年のとき、大掃除か何かで高校のとなりの養護学校に草むしりに行ったときに摘んだものなのだ。何本か摘んで、その内一本は壁にとめてあるけれど、もう一本は同級生のKさんにあげようと思って大事に教室に持っていった。うれしそうな顔で受け取ってくれたと記憶している。

卒業したとき、彼女に手紙を書いた。しかし投函しなかった。書いたのも出さなかったのも気まぐれだった。予備校に通うようになって、他の女の子を好きになった。机の位置も変えて壁に本棚を置いた。そうして彼女のこともクローバのことも忘れてしまった。今頃になってクローバと再会した。そして僕は考えるのだ。あの暑く青空であった日から今日まで、僕にどれほどいろいろな事があった、どれほど多くの事を考えたかを彼女に話したらさぞびっくりするだろうと。またあのとき僕が秘かに彼女を好きだったと言ったらも

っとびっくりするだろう、などと。PS.Kさんきつと元気でいるでしょうね。僕も元気でです。

### 大学生活

東海大学 小出隆之

この四月十日に入学したが、今だに大学生のような気がしない。広い大学の構内を歩き、いろいろな立て看板をみてクラブ勧誘をうけると、「ああ、おれもいよいよ大学生なんだな」という感じがする。授業もすでに始まり、大学もほくも一年のサイクルが動きはじめた。

大学生活は数多くの友人を作ることだという話を先生や先輩から聞いた。三年の時の担任の高橋誠治先生から「必ずどこかのクラブに入れ」といわれ二時間三〇分の通学時間をもとめせず自分の趣味をいかして「釣魚部」に入ることにした。いい先輩にめぐりあえるだろう。同じクラスの中で同郷の友人もできた。これから友人を増やしていこうと思う。

大学生活は高校以下の学校と比べて非常に自由である。しかし、その反面、責任も重くなる。留年などは高校と比べものにならないほどきびしい。だが、大学に入った以上、大学生としての自覚をもって、大いに大学生活を楽しもうと思っている。

### 三期生 今井 球

武蔵野美術短期大学の毎日は、帰りが六時過ぎ、実技の課題が終わらない時は十時というあわただしい生活。疲れきっていた私は、高校時代のクラスメイトと逢って、岡山から来ているという人の下宿へ遊びに行った。

四畳半、小さな冷蔵庫、小さな炊飯器、何もかもまとまっていって、うらやんだのだが、話を聞いているうちに、私が考えている様な自由気ままな生活は何一つないということがわかった。自宅通学の私達には、下宿生活というものは憧れであり、一度は体験してみたいのだが、現実はどうも厳しいらしい。学校で「もう二万しかない。今月は風呂にも入れないよ。」などという声も聞く。

今まで笑って聞き流して来たのだが、今では自分が情けなくなる。この学校生活を夢見、自分なりに努力して来たつもりだが、入学時の緊張感はずいぶん消え、あわただしい生活から抜けだそうと、案をすることばかり考えている。自宅通学、それだけ私達は有利である筈なのに、やる気がない。地方出の人達からは、どんなに歯がゆく見えるだろう。私にとって、その日が改めて入学の日であった。少しでも自分の夢に

近づきよう、地道に、あせらず、短い学校生活を、有意義に過したいと考えている。

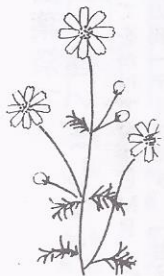
### 歳は十六 瞳はブルー

二つ下の さっちゃんはずくっても ずくっても 底の見えない時代

淑かにしなくちゃだめだよ  
大和なでしこのように  
髪は金色 瞳はブルー  
タンスの前で二人撮った写真は  
瞳の色が黒だった  
本当に どうして  
外の景色は止まらないのかな

頬はオレンジ 瞳はブルー  
目をつむる仕草  
こっそり起こしてみたら  
片っぱだけの湖  
歳は十六 瞳はブルー  
金色の巻き毛 帽子に隠し  
さっちゃんは一ひとり  
箱の中

辻元 秀夫





# 大学生活

## 三期生(日体大) 小林宏行

大学に入学し寮に入り、今迄と全く違う生活が始まった。矛盾だらけの生活で、時には本当に信じられないこともあった。そのうち自分の体がつぶれるのではないかという不安が募り、自分を見失ないどうしようもない精神状態にもなった。しかしどんなになろうとも自分が選んだ道だからもう引き下がれない。誤魔化しは決して許されないこの世界。緊張感を出しっぱなしの毎日で、初めのうちは本当に息が詰まる思いだった。精神的に参ってはダメだと自分に言い聞かせ、この一瞬を乗り切ればそのうち……と思いつながらなんとか今までこられた。苦しさで自分のことしか考えられず、他人を思いやる気持ちなども失っていた。

今、この様な生活の中で痛切に感じることは、自分が実に高校時代、甘かったということだ。勿論覚悟だけはしていたのだが、この凄じい苦痛は、経験してみても初めて分かった。勝負はまだまだこれからで、まだまだ甘えがあるし学び取ることが有り過ぎる。この逃げることの出来ない現実の世界ですべてに勇氣を持って前進し、どんなにきつとも耐えて、自信と誇りを持ってるように頑張りたい。

## 会長就任にあたって

### 小田切幸久

渡辺久男先生急逝の際、連絡の内容及び方法に不徹底な点が御座いましたことをおわび申し上げます。

最近、久留米西の名を用いての電話勧誘が横行しておりますが、これは当方とは全く関係のないものでありますので御注意下さい。

同窓会に対しての御意見、御希望その他どんな事でも結構ですので、皆様からの情報や御協力をお待ち申し上げます。尚、それらを基盤に同窓会と皆様との絆を保ち、かつ一層強いものにしていきたくと存じます。

## 54年度同窓会新役員人事

- 顧問 鈴木 孝男(1期生1組)  
 会長 小田切幸久(2期生8組)  
 副会長 藤本 敏之(2期生2組)  
 大塚 英博(3期生2組)  
 書記 中村 恵子(1期生4組)  
 小島佐知子(3期生1組)  
 大島 勉(1期生7組)  
 會計 大塚 俊一(3期生1組)  
 長瀬 和枝(3期生5組)

# 学校の現況

## △訃報▽

渡辺久男先生 七月十三日  
 不全にて急逝されました。

## (転退職)

- 渡辺久男先生 井草高校校長  
 前田忠造先生 三田高校  
 北見英二先生 小山台高校  
 中根久子主事 退職  
 遠藤澄子主事 豊島高校  
 (着任)  
 齊藤 博教頭 (大山高校)  
 河岡紀生先生 (大山高校)  
 関口暁子先生 (井草高・定)  
 神崎隆司主事 (駒場高校)  
 立石昌子主事 (秋川高校)

## 進路状況 (2期生を含む)

	状況	
	男	女
4年制大学	3	2
短期大学	54	25
専門学校	0	70
就職	23	22
	13	10

# 檜葉祭で逢いましょ

「すべてをかけて今JUMP!」  
 檜葉祭の統一テーマです。「甘えの世代」と評されるいまの若者達は大学祭ではモグラ叩きにクレール屋、高校の文化祭ではお化屋敷など、遊びの場にしてしまったといわれる。今年の檜葉祭は「進んで学び……」の久留米西の教育目標を見直し、演劇、展示等全校生徒がアイデアを絞り、役割分担をもつ充実した取り組みが進行中です。今年の特徴はコンクール委員会が発足して、クラスの出し物を評価(採点の70%はプロセス)することになっています。

檜葉祭では懐かしいOB達の顔が見られるでしょう。ぜひお出掛けください。

日時 九月二十九日 九時~四時  
 三〇日 九時~三時

その他・受付でプログラムをお受けとりください。

・上履きを御持参ください。

## 同窓会報名募集

図書館だよりは「どんぐり」、PTA会報は「檜の葉」など校章に由来したものでした。同窓会報も親しみやすい名をつけたいものです。アイデアをお寄せください。